

梶山ひろし

プロフィール

●昭和30年10月18日、茨城県常陸太田市生まれ●県立太田第一高～日大法学部卒●サラリーマン生活を経て、昭和63年会社を設立し、中小企業の経営にあたる●平成12年衆議院議員初当選、現在6期●母・春江、妻・由可子、3女の6人家族



レポート View vol.48

平成27年
新春号

愛郷無限
新時代
Kajiyama Hiroshi

●発行／茨城県常陸太田市山下町1189 自由民主党茨城県第四選挙区支部

梶山ひろし、6期目当選！ 地方創生に本格始動！！

■皆様からの貴重な思いを しっかりと受け止めて…

皆様、明けましておめでとうございます。日頃のご支援ご指導に心より感謝申し上げます。また、昨年、12月14日には衆議院総選挙が行われ、梶山ひろし代議士は皆様から95,655票という貴重な票をいただき、6期目の当選を果たすことができました。梶山ひろし代議士はこの皆様からの期待の大きさ、重さを真摯に受け止め、引き続き、国政に邁進して参る決意です。

■経済再生は、道半ば 成果を実感できる政策を推進。

今回の選挙で与党の自民、公明両党は、ほぼ前回と同様の325議席を獲得しました。安倍政権の2年間の全てが問われる選挙でしたが有権者の最大の関心事は、経済再生の道筋、そしてその成果がいつ、どのように出てくるのかということでありました。選挙の結果は、より現実的な政策を掲げる与党を選択していただきました。

15年以上に及ぶ我国の持病（デフレ）を克服するにはまだまだ道半ばであり、当面、臨時的な対策も併用しな



12月24日 初登院。

がら各地域、各産業が景気回復の実感を得られるよう、全力で取り組んで参ります。

正月返上で、地方創生を柱に経済対策などを盛り込んだ14年度補正予算案と15年度当初予算案を編成、提出し、年度内の成立を目指していくこととなります。



議員バッジを胸に…。

■地方創生に全力を尽くし、 景気回復、デフレ脱却を

平成27年は、地方創生が本格始動の年となります。これからの5年、10年を見すえ、それぞれの地域の成長戦略というもの考えて、何をどのように整備をしていくのか、どういった産業を興していけるのかを考え、国、県、市、そして地域が一体となって政策を進めていかねばなりません。地方、地域の底上げをしていくこと、これが日本全体の景気回復、デフレ脱却に繋がります。

梶山ひろし代議士は、この信念のもと、日本の経済の再生、そして県北、地方の創生に全力で取り組み、勇猛果敢に挑戦を続けて参ります。

引き続きのご支援、ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。